



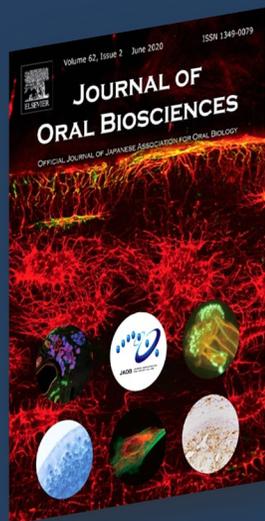
平易かつ洗練された表現で情報を 伝えるためのヒント

大島 勇人

Journal of Oral Biosciences 誌副編集委員長

新潟大学大学院医歯学総合研究科

histoman@dent.niigata-u.ac.jp





Japanese Association for Oral Biology

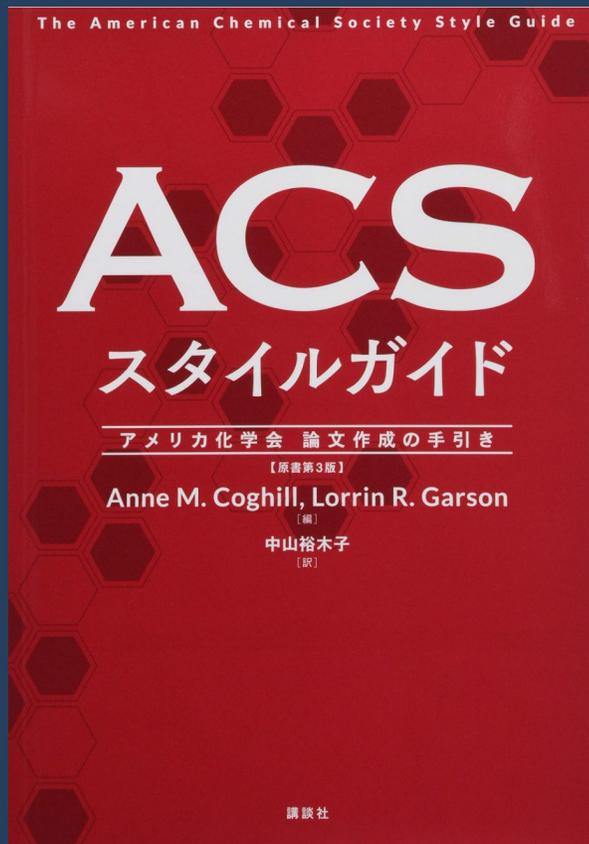
Conflict of Interest

Author's name: Hayato Ohshima

The author declares no conflicts of interest associated with this manuscript

Key Question

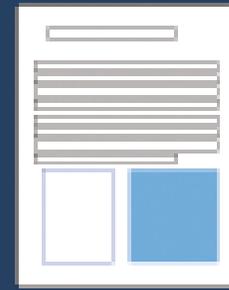
著者や編集者が平易かつ洗練された表現で情報を伝えることができるようになるにはどうすれば良いのでしょうか？



【目次】

- 第1章 科学出版における倫理規範
- 第2章 科学技術論文
- 第3章 編集プロセス
- 第4章 文体と語法
- 第5章 Webシステムによる投稿
- 第6章 査読
- 第7章 著作権についての基礎知識
- 第8章 マークアップ言語と構造化文書
- 第9章 文法、句読法、スペル
- 第10章 編集スタイル
- 第11章 数量表記、数学的表記、測定単位
- 第12章 化合物の名称と番号
- 第13章 化学の通則
- 第14章 参考文献の記載方法
- 第15章 図
- 第16章 表
- 第17章 化学構造式
- 第18章 文献一覧

良い原稿とは...



- **ジャーナルに適していること**

※候補となりうるすべてのジャーナルについて調べる。

- 目的と範囲 (Aims and Scope)
- 論文の種類
- 読者層
- 最近発表された論文の抄録に目を通し、注目されている話題を知る。

すべての犯罪者には、犯行に手を染めるだけの内的な「しかるべき理由がある」→「自分のためになる」という意味での「善」の遂行



- **出版倫理を遵守していること**

- 他者の論文を盗用しない。データ捏造をしない。 
- 同じ研究に関して複数の論文を出版しない(二重投稿)、同じ原稿を一度に複数のジャーナルに投稿しない。 
- 他者の論文を適切に引用する。 
- 大きな貢献をした共著者のみを示す。→~~ギフオサ~~、~~ゴストオサ~~ 

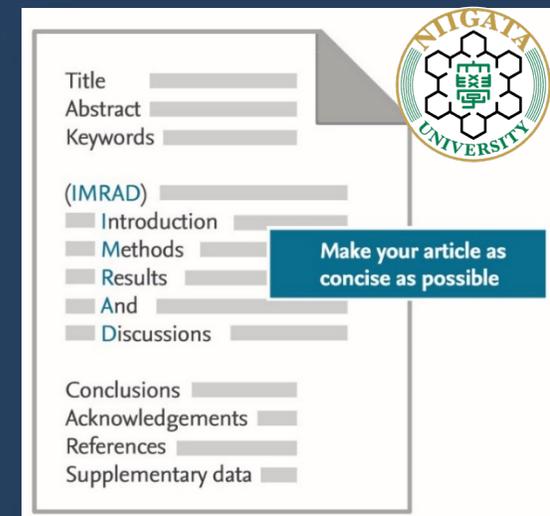
- **投稿規定 (Guide for Authors) に従うこと**

- 投稿規定を順守して、原稿を準備する。編集者は完成度の低い原稿に時間を浪費するのを嫌う。

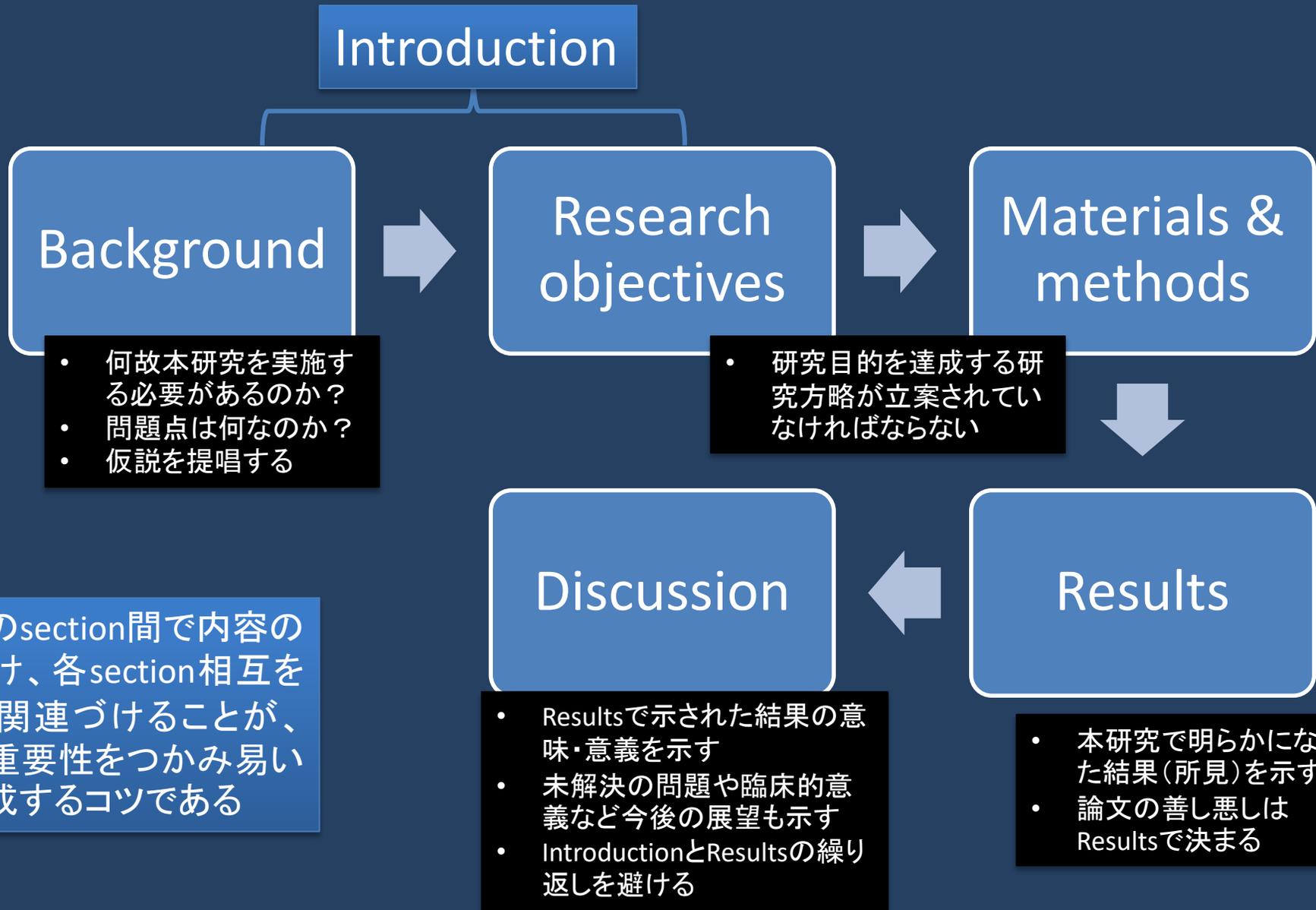
原稿はできる限り簡潔に書きましょう

論文の構造

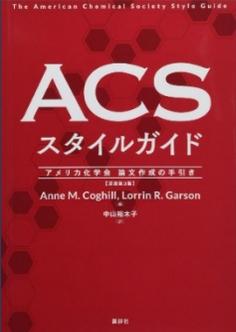
- **Title** (タイトル) → 内容を明確に示す。
 - **Authors** (著者) → authorshipが分かるようにする。
 - **Abstract** (抄録) → 何をしたかを簡潔に説明する。
 - **Keywords** (キーワード) → 論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする。
1. **Introduction** (緒言) → 背景・仮説を説明し、研究の目的を示す。
 2. **Materials & Methods** (材料と方法) → データの収集方法や実験方法を説明する。
 3. **Results** (結果) → 何を発見したかを説明する。
 4. **Discussion** (考察) → 研究結果の意味を検討する。
 5. **Conclusion** (結論) → 包括的・具体的な結論を示す。
- **Ethical approval** (倫理的承認) → ヒトや動物実験についての倫理的承認の有無を明示する。
 - **Author contribution** (著者の貢献) → 著者の具体的な貢献内容を明示する。
 - **Acknowledgements** (謝辞) → 研究を支援した人・研究費が分かるようにする。
 - **Conflict of interest** (利益相反) → 利益相反の有無を明示する。
 - **References** (参考文献) → 過去に出版された論文が分かるようにする。
 - **Supplementary material** (補足資料) → 専門家向けの補足資料を提供する。



執筆前に論文の骨格を考える

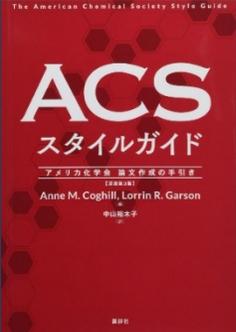


それぞれのsection間で内容の重複を避け、各section相互を有機的に関連づけることが、科学的な重要性をつかみ易い論文を作成するコツである



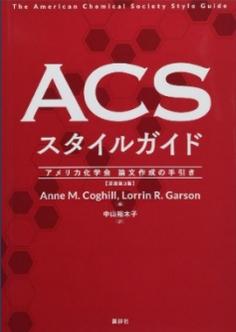
巻頭言 (Madeleine Jacobs)

- 書くことは読むことほど簡単ではない。書くこと、そして情報を伝えることは、多くの技術と多大な努力を要する。
- ジョン・アーヴィング (米国の小説家)「物書きが娯楽として読むことはない」: 巧みに表現されていた文や磨き抜かれた文で書かれた科学技術論文を読む度に、著者がどうやって複雑なアイデアをこれほど易しく洗練された文で表すことができたのか、つい解明しようとしてしまう。
- 本書の目的は、著者や編集者が平易かつ洗練された表現で情報を伝えることができるよう手助けをすることである。科学技術論文は、上手に書かれた小説とおなじくらい読みやすいものであるべきだと私は考えている。



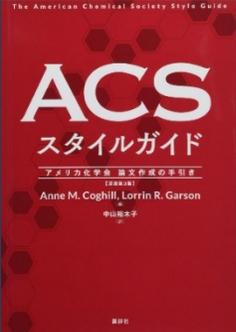
まえがき (Anne M. Goghill & Lorrin R. Garson)

- どのような形で情報を生成・配信するにしても、**正確な情報を明確・明瞭に伝え、関係者全員が倫理をわきまえて行動することの大切さは変わらない。**
- Janet Dodd「**変化の渦中においても、著者と編集者を変わりなく支え続ける目標がある。それは、最も分かりやすく、目的にかなった形で情報を伝える最高品質の出版物を目指すことである。この目標を達成するためには指針が必要である。本書は、論文の著者と編集者を導き、疑問に答え、彼らの時間を節約し、明確性と一貫性を確保するためのものである。」**



訳者まえがき(中山 裕木子)

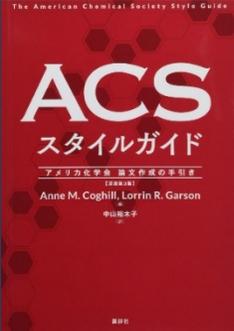
- 英語の書き方に「答え(=指針)」があった。
- 科学技術分野の情報を世界に発信するためには、正確、明確、簡潔に英語を書くことが必須です。
- アメリカ化学会による「ACSスタイルガイド」:「読み手が迷わないように書く」というまっすぐな指針が示されています。
- 第4章「文体と語法」: 明確で簡潔に書くための表現のコツ
- 第9章「文法、句読法、スペル」: 正確に書くための表記の決まり
- 書き方の規則や推奨される英語の技法を「知ること」が大切と考えています。



科学出版における倫理規範

Ethics in Scientific Publication: Gordon G. Hammes

- 科学研究においては、**研究者の誠実性** (integrity [インテグリティ]: 誠実さ、高潔さのこと。research integrity [研究公正]: 研究者が研究活動を行う際に守るべき倫理・規範の基本概念のことを指す。) が強く求められ、その度合いは他の大半の専門職より高いかもしれない。
- 公表された結果が不正確な場合には、科学の進歩が大きく遅れる可能性がある。つまり科学界は、**結果を報告する研究者の誠実性に依存している**。別の事実が立証されないかぎり、研究の記述内容は公正なものともみなされる。このようなしくみを確実に機能させていくことは論文の著者の責任である。
- **研究という行為は、必然的に既存の方法や理論の限界を広げようとするため、判断や解釈の間違いが生じることもある。**
- **研究におけるねつ造や虚偽行為は明らかに倫理に反することであり、いかなる状況であっても許されない。**



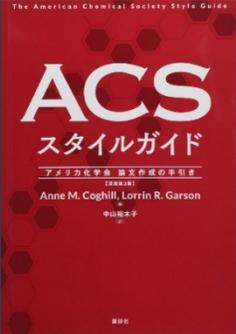
文体と語法 Writing Style and Word Usage

- 優れたライティングは明確かつ正確に伝えるための指針と通則を守っているものである。
- 効率的に情報を伝えるために、精密かつ明瞭であることが求められる。

正しい文構造

- 単語の並びを工夫して文を構成することで、一つの情報や論点から次の情報や論点へと読者に容易に理解できる様に配慮すれば、著者が意図した内容が正しく理解される。
- シンプルな平叙文(疑問文、命令文、感嘆文ではない文)は最も明確であり、書きやすく、読みやすい。
- 短い平叙文を複数書いてからつなげるほうがよい。
- 単文を複数組み合わせることで、重文を作る
- 単文に従属節を1つまたは複数加えることで複文を作る
- 節とは主語と動詞を含む2語以上のまとまりで、それ自体で意味をはず節は独立節とよばれ、それ自体では意味をなさない節は従属節とよばれる。

From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き



態

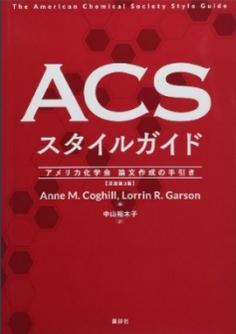
- 能動態とは、主語が動詞の表す動作を行う文である。受動態とは、主語が動詞の表す動作の受け手となる文である。
- 能動態は、受動態を使うよりも語数が減り、直接的に表すことができる場合に使う。
- 受動態は、動作主が不明な場合や重要でない場合、または動作主を特定したくない場合に使う。

時制

- 適切な時制を使用すれば、文が伝える内容に読者が焦点を当てやすくなる。
- 過去形は、他者や自分が過去に行った事象を述べる場合に使う。
- 現在形は、事実を述べるために使う。
- 結果、考察、結論に対しては、現在形と過去形のどちらも使用することができる。
- ただし同じ論文中では、結果、考察、結論における現在形と過去形の使用については一貫性をもたせる。

その他

- 不自然さや曖昧さを避けるために、分離不定詞(toと不定詞の間に副詞などを挟む形)を使用してもよい。



主語および主語と動詞の一致

- 一人称は、文意を明確にできる場合や、目的または決断を表す場合には使用して良い。
- we believe、we feel、we can seeといった句を使うことや、個人的見解を述べることは避ける。

文の修飾

- 限定句や限定節とは、文意に不可欠な句や節であり、コンマで区切らない。
- 非限定句や非限定節とは、文に意味を加える必須がない句や節であり、文から取り除いても、文意は基本的に変わらない。非限定的な修飾は、コンマで区切る。
- 懸垂修飾語とは、適切な修飾対象が文中に存在しない語句である。

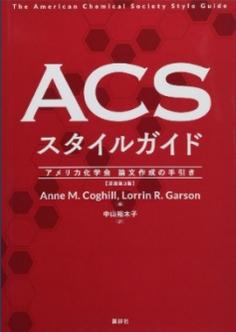
文構造と語順

- 二重否定文を避け、肯定文を使う。
- 適切な従位接続詞を使う。whileとsinceは時間の意味が強いため、although(しかし)、because(なぜなら)、whereas(一方)の意味では使わない。

From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き

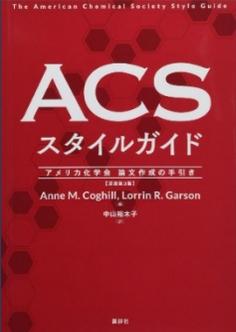
パラレリズム

- **パラレリズム(並列構造)**とは、**文法的に対等な語や語群を並べる技法**である。文法的に対等に並べるとは、「**単語と単語**」「**句と句**」「**従属節と従属節**」「**文と文**」を並べてつなぐことである。並列構造には、**等位接続詞**、**相関接続詞**、**相関構文**を用いる。
- **等位接続詞**は1語であり、**and、but、or、nor、yet、for**などがある。
- **相関接続詞**とは、**either...or、neither...or、both...and、not only...but also、not...but**など、**一対の語句を対応させて用いる**ものである。
- **相関構文**とは、**as...as**(例: as well as)を用いた文の構造を指す。
- **等位接続詞でないbutの前後は並列構造でなくてよい。**



比較

- 比較を表す文頭の句は、文の主語を指すようにし、コンマで区切る。
- 動詞のcompareは、類似を示すには前置詞toを伴い、違いを示すには前置詞withを伴う。同等のものどうしを比較する。
- 比較には必要な単語を省略せず、紛らわしい語順も避ける。比較する2つ目の要素の導入には従位接続詞thanが使われることが多く、その前には形容詞または副詞の比較級が置かれる。
- 比較に用いる熟語different from、similar to、identical to、identical withは、単語同士を離さないのが一般的である。
- relative to、as compared to、as compared withなどの句やversusなどの単語は、比較する2つ目の要素の導入に使う。比較対象は並列させる。

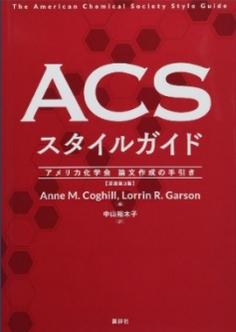


正しい語法

- 単語の選択にあたっては、論文の読者に配慮しなければならず、読者が知っているであろう単語を選び、読者が知らない可能性がある単語は定義して使うことが大切である。

まとめる表現・比較表現

- respectivelyは、同じ文中で複数の並列要素を対応づける場合に用いる。
- 「超える」を表す場合には、overやin excess ofは厳密性を欠くので、より正確なgreater thanやmore thanを使う。
greater than 50% more than 25 mg
- 「より少ない」を表す場合には、数にはfewer、量にはlessを使う。
fewer than 50 animals less time
- 「数と測定単位」の組み合わせは単数と見なされるため、lessを使う。
less than 5 mg
- 列挙する要素が2つの場合にはbetweenを使い、列挙または暗示する要素が3つ以上の場合にはamongを使う。

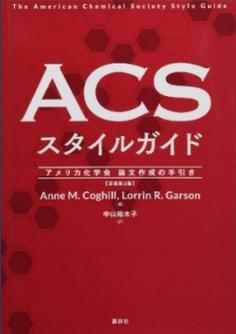


混同しやすい単語と句



- myselfは再帰代名詞といい、**が主語の文でのみ使う**。meは直接目的語、間接目的語、または前置詞の後に置いて使う。
- attributable to(～に起因する)を意味するdue toは、文中で直前の名詞または代名詞を修飾する用法で用いるか、be動詞に続ける。
- based onとon the basis ofは意図的に応じて使い分ける。based onでは始める句は、直前または直後に置かれる名詞または代名詞を修飾するのが通例である。on the basis of では始める句は、動詞を修飾する。
- assure、ensure、insureは意図に応じて使い分ける。assureは「断言する」、ensureは「確実にする」、insureは「費用を補償する」を意味する。
- affect、effect、impactは意図に応じて使い分ける。affectを動詞で使うと「影響する、修正する、変更する(influence、modify、change)」を意味する。effectを動詞で使うと「生じさせる」を意味し、名詞で使うと「結果(consequence、outcome、result)」を意味する。名詞impactは、「大きな影響(significant effect)」を意味する。
- whetherは2つ以上の選択肢を列挙または暗示する場合に用いる。
- whether or notは、regardless of whether(～であろうとなかろうと)を意味する場合に用いる。
- compriseは、contain(～を含む)またはconsist of(～からなる)の意味で使う。compriseは、compose(～を構成する)と同義ではない。

From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き

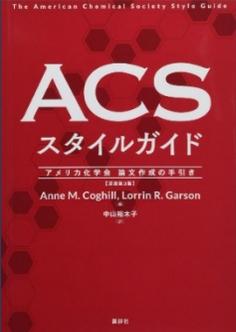


A/Anの使い方

- 冠詞a/anは、直後の単語または略語の発音に応じて選択する。
- 有音のhの前にはaを使う。母音で発音するa、e、i、o、「弱い」または「短い」uおよびyの前にはanを使う。
- B.A.、B.S.、M.A.、M.S.、Ph.D.の冠詞は、最初の文字の発音に応じて選択する：an M.S. degree a Ph.D.

使用を控える語句

- 俗語や業界用語の使用を控える。
- 簡潔に書く。語数が多いと意味が不明瞭になり、読者に伝わりにくくなる。
- 次のような意味の無い句を省く。
As already stated It has been found that It has long been known that
It is interesting to note that It is worth mentioning at this point
It may be said that It was demonstrated that
- 科学技術論文では、短縮形を使わない。
- plusという単語とプラス記号をandの同義語として使わない。
- respectivelyをseparatelyとindependentlyの意味で使わない。 and six had been expected
- withではじまる前置詞句の誤用に注意する：Nine deaths from leukemia occurred, ~~with six expected~~.
- andやorの意味でスラッシュを使わない。
- and/orは意図に応じてandかorに変更する。
- recentlyは使わない。

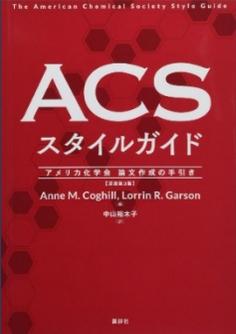


余分な単語を省く

| 避けるべき書き方 | 推奨する書き方 |
|--------------------------------|----------------------|
| This is a problem that is | This problem is |

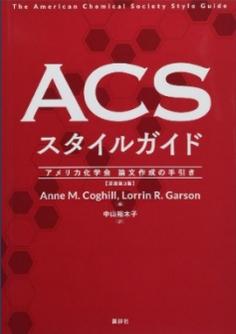
句ではなく1語を使い、文字数を節約する(そうすることで、より厳密に伝わる)。

| 避けるべき書き方 | 推奨する書き方 |
|----------------------|-----------------|
| a number of | many, several |
| are known to be | are |
| at present | now |
| by means of | by |
| has been shown to be | is |
| In the case of | in ..., for ... |
| is known to be | is |
| it appears that | apparently |
| it is possible that | possibly |
| prior to | before |



性的に中立な言葉

- 性別を強調する時代遅れな言葉を避けるよう編集者と著者に推奨している。
- manの代わりに、people、humans、human beings、human speciesを使う。
- manpowerの代わりに、workers、staff、work force、labor、crew、employees、personnelを使う。
- Man-maidの代わりに、synthetic、artificial、built、constructed、manufacturedを使う。
- he、his(彼は、彼の)の代わりに、複数形(they、theirs)または1人称(we、us、ours)を使用するように文構造を変更する。
- 単数形の名詞に対して複数形の代名詞を使うことはできない。
- wife(妻)の代わりにfamily(家族)やspouse(配偶者)を使うのが適切な場合がある。



文法、句読法、スペル Grammar, Punctuation, and Spelling

主語と動詞の一致



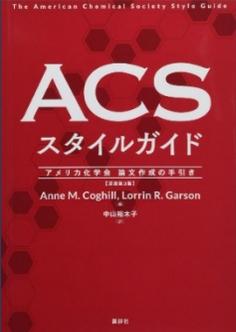
- 主語と動詞の間に前置詞句が入ってくると、主語の単複が判断しにくい。
- 前置詞句、動詞、主語の順で文が構成されると、主語の単複が判断しにくい。
- 単語の2つの主語をandでつないだ場合、動詞は複数形で主語に呼応させる。
- 複数の主語をorでつないだ場合、動詞は最後の主語の単複に呼応させる。
- 集合名詞を全体としてとらえる場合、動詞は単数形で主語に呼応させる。そのような集合名詞の前にはtheを置くことが多い。それに対し、集合名詞の個々の要素に焦点を当てる場合には、動詞を複数形で主語に呼応させる。そのような集合名詞にはaを置くことが多い。

contents 内容 majority 大多数 range 範囲 couple ひと組
number 数 series 一連のもの dozen ダース pair 対
variety 種々なもの group 集団

- data(データ)は単数にも複数にもなりうる。
- 測定単位は集合名詞として扱い、動詞は単数形で主語に呼応させる。

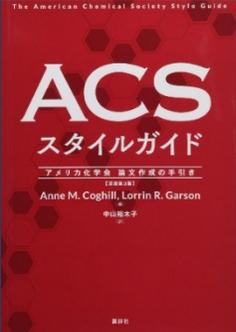
Five grams of NaCl was added to the solution.

From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き



主語と動詞の一致

- 末尾がicsの科学分野を表す名詞は、単数扱いとするのが通例である。
dynamics 動力学 mechanics 力学 kinetics 速度論 physics 物理学 mathematics 数学
thermodynamics 熱力学
- each、every、everybodyを伴う複合主語の場合、動詞は単数に呼応させる。
- 重複するeach、every、everybodyを省略して暗示する場合があります、動詞を単数形で主語に呼応させる。
- 複合主語の片方が、明示・暗示を問わずeach、every、everybodyを伴わない場合、動詞は複数形で主語に呼応させる。
- 不定代名詞(または形容詞を伴う不定代名詞one)を主語にすることができる。
- 主語をeach、either、neither、no one、every one、anyone、someone、everyone、anybody、somebody、everybodyとする場合、動詞は単数形で主語に呼応させる。
- 主語をseveral、few、both、manyとする場合、動詞は複数形で主語に呼応させる。
- 主語をsome、any、none、all、mostとする場合、動詞を単数形または複数形のどちらに呼応させるかは、文脈に応じて決める。
- 主語が分数の場合、前置詞の直後にくる名詞の単複によって主語の単複が決まる。
- 主語と述部名詞(be動詞を使う文の補語のこと)の単複が一致しない場合、動詞は主語の数に呼応させる。

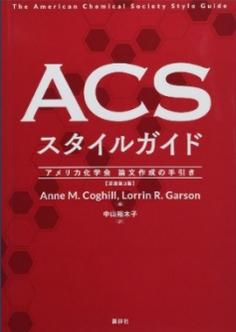


限定と非限定

- 文脈上必須である句や節は、限定句や限定節とよばれる。限定とは、その句や節がなければ文意が成り立たないことを意味する。関係詞を使った限定節の導入にはwhichではなくthatを使うのがよい。
- 文脈上必須でない情報を加える句や節は、非限定句や非限定節とよばれる。非限定とは、その句や節を削除しても文意が失われないという意味である。非限定句や非限定節はコンマで区切る。関係詞を使った非限定節の導入にはwhoやwhichが使えるが、thatは使えない。

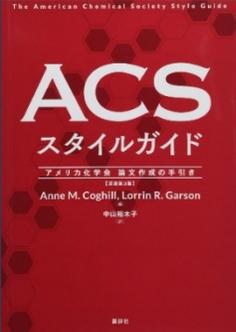
懸垂修飾語

- 懸垂修飾語とは、文中で就職先が不明確または非論理的になっている修飾語や句のことである。
- 主語より前に置く修飾語は、主語の前にコンマを入れ、主語を修飾するようにする。主語を修飾しない場合は懸垂修飾語になる。
- 受動態を用いることで懸垂修飾語を解消できる場合がある。
- 独立構文(文修飾語)とは、文の他の部分との文法的なつながりがない語句や節のことである。独立構文はコンマで区切り、文のどこに置いてもよく、懸垂修飾語には該当しない。
contrary to ~とは逆に judging from ~から判断して when necessary 必要に応じて clearly 明らかである
concerning ~に関して considering ~を考えると provided もし~であれば failing ~がない場合には
providing ~という場合には given ~を考えると regarding ~に関して
- 数学的表現を含む論文では、assumingとtakingからはじまる句が独立構文(文修飾語)として使われることが多い。



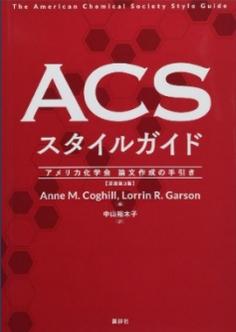
コンマ (Comma)

- 2つ以上の主節(独立した考えを表す節)をつなぐ等位接続詞and、or、nor、but、yet、for、soは、前にコンマを入れ、後ろには入れない。
- 複文において従属節を主節の前に置く場合には、従属節の終わりにコンマを入れる。
- 文頭に置く語句の後ろにはコンマを入れるのが通例である。
However, Therefore, Thus,
- 3つ以上の等価な語、句、節を列挙する等位接続詞の前にはコンマを入れる。このコンマをシリアルコンマという。
- 等位接続詞を含む重文において接続詞に続いて節を置く場合には、その節が単体のときと同様に句読点を付す。
- 動詞と主語、目的語、述部名詞の間をコンマで区切らない。
- 述部が複数の部分からなり、それが2つだけの場合には、接続詞の前にコンマを入れない。
- 名詞の前に形容詞が2つ以上並ぶときは、順番を逆にしても意味が変わらない場合にのみ、形容詞の前にコンマを入れることができる。
- 従属接続詞節を非限定とする場合のコンマは接続詞の前に入れ、後ろには入れない。
- 非限定の句や節を区切るためにコンマを入れる。
- such asやincludingで導かれる句は、限定(コンマで区切らない)でも非限定(コンマで区切る)にもなりうる。
- 同格語とは、名詞の後ろに置かれてその名詞を特定したり説明したりする名詞のことである。
- 同格語は、それが指すことができる名詞が1つだけである場合に非限定とする(コンマで区切る)。



コンマ (Comma)

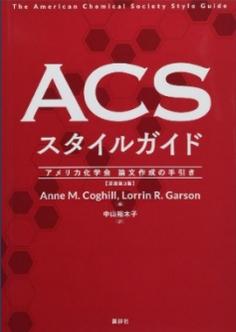
- that is、namely、for exampleは、節をおかずに1つまたは複数の単語を列挙する場合に、列挙する単語の前にコンマを入れる。また、列挙した単語の後ろにもコンマを入れる。丸括弧内ではi.e.やe.g.を使い、その後ろにはコンマを入れる。
- 2つの文献引用番号はコンマで区切る。3つ以上連続する番号を範囲で表す場合、丸括弧内であっても、上付き番号であってもエンダッシュ(-)を使う。上付き番号の場合、コンマの後ろのスペースは不要である。
- Jr.やSr.の前にはコンマを入れるが、IIやIIIの扱いは、当人の好みに従えばよい。文中ではJr.やSr.の後ろには必ずコンマを入れる。
- et al. (~およびその他の者たち)の前にはコンマを入れない。
Ohshima et al.
- 日付について、日の後ろにコンマを入れる。日の記載がない場合には、月の後ろにコンマを入れない。
June 15, 1996 June 1996
- 文中で完全な日付を書くときには、年の後ろにもコンマを入れる。
On August 18, 1984, ...
- 文中で地名を挙げる際、地名にコンマが含まれる場合には、名称の終わりにもコンマを入れる。
Iona Collee, in New Rochelle, New York,
- 引用の前にはコンマを入れる。
- 引用部分を文の主語とする場合、引用の後ろにはコンマを入れない。



ピリオド (Period)

- 平叙文の終わりにはピリオドを打つ。ただし、他の句読点がある場合にはピリオドを打たない。
He said, “Watch out!” 「気をつけろ！」と彼は言った。
- 測定単位の略語(単位記号)には略語のピリオドを入れないのが通例だが、単位記号が普通の単語と混同される場合には、ピリオドを入れることがある。
numberのno.
- ピリオドを含む略語で文を終える場合には、文末のピリオドを兼ねる。
- 人名のイニシャルの後ろには、ピリオドとスペースを入れる。
- 論文の謝辞で論文の著者に言及する際には、ピリオドは入れるがスペースは入れない。
- 機関名や組織名の略語や頭字語にはピリオドを入れない。

ACS NIH



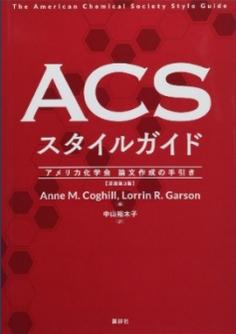
セミコロン (Semicolon)

- 接続詞でつながれない独立節どうしはセミコロンでつなぐ。
- 単語、句、データ列を複数列挙するとき、列挙する要素にコンマが含まれている場合には、各要素間にコンマでなくセミコロンを入れる。
- 独立節どうしをthat is、however、therefore、hence、indeed、accordingly、besides、thusなどの接続副詞や移行句でつなぐ際には、間にセミコロンを入れる。
- 従属節と独立節の間にはセミコロンを入れない。

コロン (Colon)

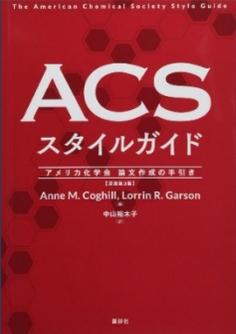
- コロンを用いて単語、句、完全な文を導入し、先行する情報を説明したり、明確化したり、拡張したりすることができる。コロンの後ろに2つ以上の完全な文、引用、正式な供述を置く場合、コロンに続く最初の単語を大文字ではじめる。
- 図のキャプション(説明文)では、図中の記号などの説明のためにコロンを使う。
- 動詞と目的語や補語の間、前置詞とその直後の名詞の間にはコロンを入れない。
- 比を表すにはコロンかスラッシュを使い、エンダッシュは使わない。混合物の要素の間にはスラッシュかエンダッシュを入れ、コロンは入れない。

the methane/oxygen/argon (1:50:450) matrix



引用符 (Quotation Marks)

- 同じ引用符と他の句読点の位置関係について、ASCでは他の機関とは異なり、句読点が引用の一部でない場合には引用符の外に句読点を置く様式を採用している。
- 句読点が引用の一部でない場合には、閉じ引用符の後ろに句読点を置き、句読点が引用の一部の場合には、閉じ引用符の前に句読点を置く。
- 新しい意味や文字通りでない意味で使う語を引用符で囲む。ただし、引用符で囲むのは本文中の初出箇所のみとする。
- 書籍や論文では独自に名づけた部分や項目を引用符で囲む。
- 短い直接引用(3文まで)を引用符で囲む。
- 50語以上の長い引用(抜粋)は、横幅を狭く設定して示す(両端をインデントする)。引用符は用いない。
- 二重引用符の中でさらに引用する場合にのみ、一重引用符を使う。

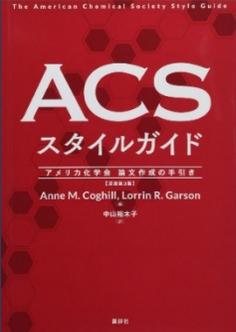


丸括弧 (Parenthesis)

- 要点を補足する情報を丸括弧に入れる。つまり丸括弧内の情報は、その文に必須ではない。
- 丸括弧は、明確化する、特定する、例示する、読者を導くという目的で補足説明に用いる。
- 句読点は丸括弧の前ではなく後ろに入れる。
- 丸括弧に入った文が他の文中にある場合、丸括弧内の文を大文字で開始せず、閉じ括弧の内側にピリオドも打たない。
- 丸括弧に入った文が他の文中ではない場合、丸括弧内の文を大文字で開始し、閉じ括弧の内側に文末のピリオドを打つ。
- 列挙に使用する数字は丸括弧に入れる、片括弧ではなく、必ず両括弧を使う。
- 試薬や装置の製造業者は丸括弧を用いて示す。
- 文中で言及する参照番号は、必須情報であり補足情報でないのもので丸括弧を用いない。

角括弧 (Square Brackets)

- 引用符中の直接引用ではない部分を示す。
- 濃度を示す。
[Ca+]



ダッシュ (Dashes)

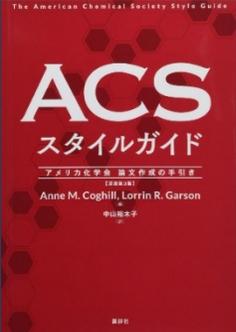
- ハイフン(-)、エンダッシュ(-)、エムダッシュ(—)
 - ※エンダッシュ: [2013]+[Alt]+[x]
 - ※エムダッシュ: [2014]+[Alt]+[x]

エンダッシュ (En Dash)

- 同じ重みをもつ単語からなる複数語においては、and、to、versusの意味でエンダッシュを使う。
carbon–oxygen bond 炭素–酸素結合
- blue-green (青緑) のような色の組み合わせにはエンダッシュではなくハイフンを使う。
- 3つ以上の数字などの範囲を示す際には、toやthroughの意味でエンダッシュを使う。
Figures 1–4
- 重要度が同じ複数の人名で名詞を修飾する場合には、エンダッシュで人名をつなぐ。
- 混合溶媒の成分間にはエンダッシュを入れる (スラッシュでもよい)。

エムダッシュ (Em Dash)

- 解釈の誤りを防ぐために、単語間にエムダッシュで区切る。
All three experimental parameters—temperature, time, and concentration—were strictly followed.
- 他の句読点で句や非限定節を区切ることができる場合には、エムダッシュを用いない。
From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き



省略記号 (Ellipsis Points)

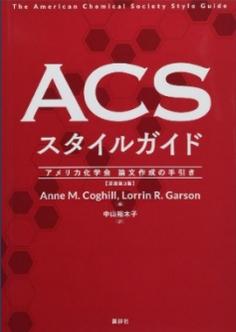
- 引用内でピリオド3つ(省略を表す点)を付すことで、省略した語句があることを示す。
- 引用のはじめや終わりに省略記号を置かない。
- 列挙される要素のパターンが明らかな場合には、省略記号を用いて省略することができる。
a = 1, 2, 3, ...

スペル (Spelling)

- 社名はインターネットで検索し、会社ホームページの「問い合わせ」に記載された名称を使う。

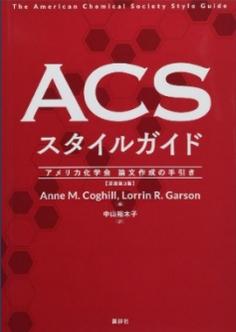
注意すべき所有形

- 所有者が複数の場合には、最後にくる名前の後ろにだけアポストロフィーとsを加える。
- 複数形で語尾がエス(s)にならない名詞の所有形は、アポストロフィーとsを加えて表す。
複数形の語尾がエス(s)の名詞の所有形は、アポストロフィーだけを加えて表す。
- 語尾がエス(s)になる固有名詞の所有形は、アポストロフィーとsを加えて表す。



注意すべき複数形

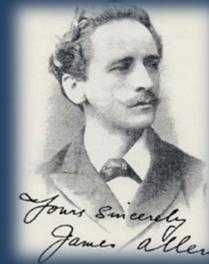
| 単数形 | 複数形 |
|------------|------------------------|
| bacterium | bacteria |
| basis | bases |
| criterion | criteria, criterions |
| focus | focuses, foci |
| fungus | fungi, funguses |
| hypothesis | hypotheses |
| index | indexes |
| locus | loci |
| matrix | matrices |
| phenomenon | phenomena, phenomenons |
| symposium | symposia, symposiums |



他人(ひと)のためは自分のため



- **中山裕木子**: ACSスタイルガイドには「読み手が迷わないように書く」というまっすぐな指針が示されています(読者のためは著者のため)。From ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き
- **アルフレッド・アドラー**: 自分が幸福になるには、他者貢献をなし、共同体にコミットし(主体的に関わり)、「わたしは誰かの役にたっている」ことを実感すること。From 岸見一郎・古賀史健著:「嫌われる勇気」ー自己啓発の源流「アドラー」の教え
- **渋沢栄一**: 「智、情、意(知恵、情愛、意志)」の三つがそれぞれバランスを保って、均等に成長したものが完全な常識であると考える。From 渋沢栄一著・守屋 淳翻訳:「現代語訳 論語と算盤」
- **ジェームス・アレン**: 利己的なものをすべて放棄してこそ、初めて人を愛し、本当に大事なものを手に入れられるようになる。From 「ジェームス・アレンの自分を幸せに導く方法」
- **神野マリアンナ莉子**: 永浦さん、重いんだよね。ひとのためって言うけど、結局自分のためじゃない。From NHK「おかえりモネ」





https://www.journals.elsevier.com/journal-of-oral-biosciences

Home > Journals > Journal of Oral Biosciences



Journal of Oral Biosciences

The official journal of the Japanese Association for Oral Biology

Publishing options: **OA** Open Access **S** Subscription

ISSN: 1349-0079

[Guide for authors](#) [Track your paper](#) [Order journal](#)

Submit your paper

投稿

With this journal indexed in 3 international databases, your published article can be read and cited by researchers worldwide

[View articles](#)

投稿規定

Editor-in-Chief > Editorial board

Norio Amizuka, DDS, PhD

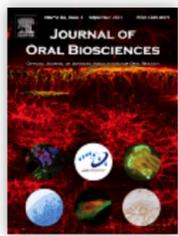
The *Journal of Oral Biosciences* (JOB) is the Association for Oral Biology, and is published as a supplementary issue for the Proceedings of the Association for Oral Biology. The Journal is published quarterly. [Read full aims & scope](#)

CiteScore 2.0

CiteScore 2.8

Publication Time 2.1 weeks

[View historical data and other metrics on Journal Insights](#)



Browse journals > Journal of Oral Biosciences > [Guide for authors](#)

Guide for Authors

[Download Guide for Authors in PDF](#)

Aims and scope +

[Visit journal homepage](#)

[Submit your paper](#)

[Open access options](#)

[Track your paper](#)

AIMS & SCOPE

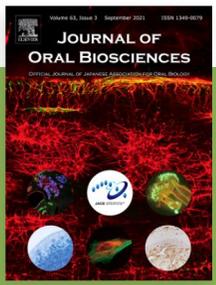
- Types of article
- Contact details for submission
- Page charges

- Role of the funding source
- Open access
- Language (usage and editing services)

- Nomenclature and units
- Artwork
- Tables



https://www.sciencedirect.com/journal/journal-of-oral-biosciences



Journal of Oral Biosciences

Supports open access

投稿

2.0
CiteScore

投稿規定

Articles & Issues ▾

About ▾

Publish ▾

🔍 Search in this journal

Submit your article ↗

Guide for authors ↗

Original article: < 3,500 words
Review: < 6,000 words
Short communication: < 1,500 words
Technical note: < 1,500 words
Letter: < 600 words

This journal requires no page charges.



Visit journal homepage >

Submit your paper >

Open access options >

Track your paper >

Browse journals > Journal of Oral Biosciences > Guide for authors

Guide for Authors

📄 Download Guide for Authors in PDF

Aims and scope +

AIMS & SCOPE

- Types of article
- Contact details for submission
- Page charges

- Role of the funding source
- Open access
- Language (usage and editing services)

- Nomenclature and units
- Artwork
- Tables

Editorial Board



Editor-in-Chief
 Norio Amizuka, DDS, PhD
 Hokkaido University, Sapporo, Japan



Vice Editors-in-Chief
 Kenji Mishima, DDS, PhD
 Showa University Graduate School of Dentistry
 School of Dentistry
 Department of Oral Diagnostics
 Sciences, Tokyo, Japan



Vice Editors-in-Chief
 Hayato Ohshima, DDS, PhD
 Niigata University, Niigata, Japan



Journal Downloads

Journal of Oral Biosciencesの出版論文は世界全域からダウンロードされています。

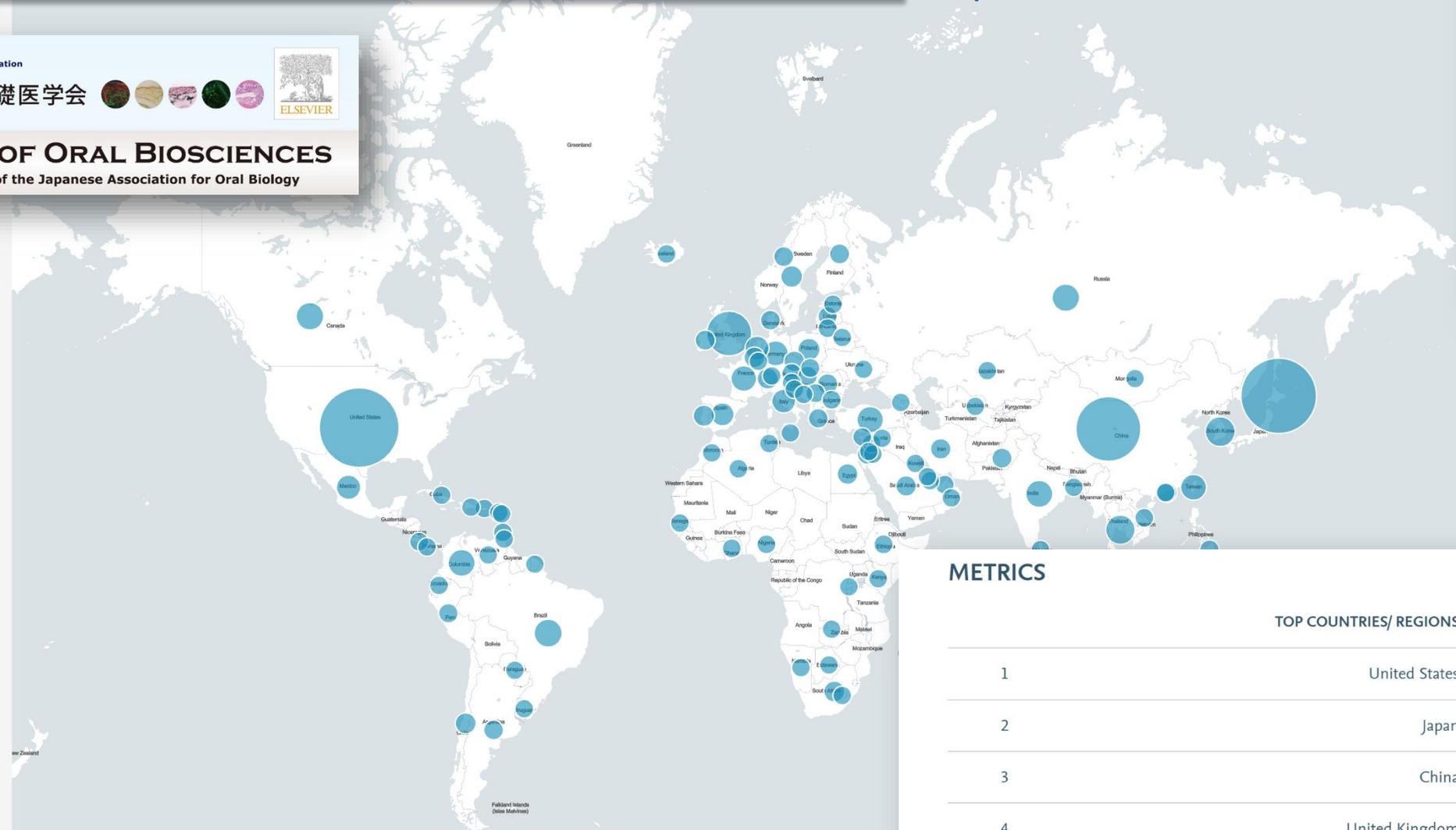
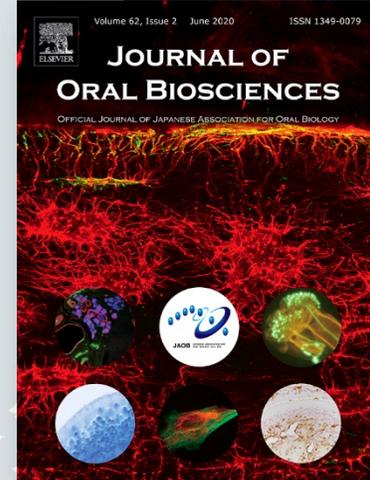
<https://journalinsights.elsevier.com/journals/1349-0079/downloads>



Access!



JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES
Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology



METRICS

| | TOP COUNTRIES/ REGIONS | DOWNLOADS |
|---|------------------------|-----------|
| 1 | United States | 21,857 |
| 2 | Japan | 20,360 |
| 3 | China | 16,518 |
| 4 | United Kingdom | 9,416 |

Source: Elsevier Journal Insights



JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES

Official Journal of the Japanese Association for Oral Biology

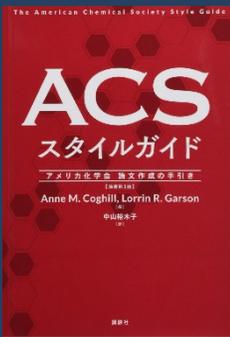
- Journal of Oral Biosciences (JOB) 誌は皆様の投稿をお待ちしています！
- JOB誌の発展は歯科基礎医学会の発展に繋がり、学会の発展は歯科医学の発展に繋がる。



JAOB JAPANESE ASSOCIATION FOR
ORAL BIOLOGY since 1958

DENTISTRY





参考文献

- アン.M・コグヒル (編集), ローリン.R・ガーソン (編集), 中山 裕木子 (翻訳): ACSスタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き、講談社、2019年
- Author Pack 学術ジャーナルに論文を出版するための手引き(エルゼビア社)
 - http://japan.elsevier.com/publishing/authorpack_jp_200911.pdf